

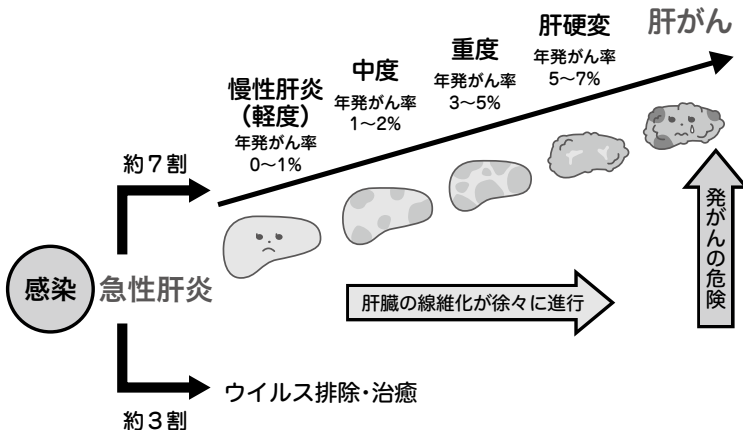


- |            |               |      |               |
|------------|---------------|------|---------------|
| つばさ薬局 多賀城店 | ☎022(366)8001 | 吉川店  | ☎0229(22)7010 |
| 長町店        | ☎022(308)5711 | 泉店   | ☎022(772)1571 |
| 船岡店        | ☎0224(58)1065 | 若林店  | ☎022(289)8777 |
| 中新田店       | ☎0229(64)1888 | 松陽台店 | ☎022(361)9444 |
| 松島店        | ☎022(353)2990 | 上杉店  | ☎022(212)1126 |
| 玉川店        | ☎022(365)2838 |      |               |

## C型肝炎とは

C型肝炎ウイルス(HCV)の感染により起こる肝臓の病気です。現在、日本では約100万人程度の感染者がいると考えられています。

肝臓は体に必要なタンパク質や栄養分の生成や貯蔵、不要になった老廃物や薬物の解毒など、生きて行く上で必要不可欠な機能をもっています。HCVに感染すると約70%の方が持続感染者となり、肝臓の線維化\*が徐々に進み、慢性肝炎、肝硬変、肝がんと進行する場合があります。肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、自覚症状がないまま病気が進むことがあり、HCVの感染がわかれば症状がなくても詳しい検査や治療を含めて、対処を検討する必要があります。\*肝臓の細胞の柔軟性が失われ、機能が低下していきます。



## 原因

C型肝炎ウイルスは感染者の血液や血液の混じっている体液を介して感染します。常識的な社会生活の上で、他人の血液に直接触れることが無ければ、家庭や集団生活での感染のおそれはほとんどありません。握手や抱擁、食器の共用や入浴での感染はありません。したがって、HCV感染を理由に差別されるなどの不利益があってはなりません。

## 検査

### ●採血検査

C型肝炎ウイルス(HCV)に対する抗体を検出する検査(HCV抗体検査)を実施し、もし陽性となった場合は引き続きHCV抗体価を測定します。その結果から必要があれば、HCVの遺伝子を検出する検査(HCV核酸増幅検査)を実施して、総合的に判定されます。

●**肝炎の進行状態を調べる検査**：肝臓組織の線維化の状態を調べる採血検査(血小板などの線維マーカー)、肝生検、画像検査(超音波検査、CT検査、MRI検査)などがあります。

### ●検査を受けた方がいい方

- ・平成4年(1992年)以前に輸血を受けた方
- ・長期に血液透析を受けている方
- ・輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与された方と、同等のリスクを有する非加熱血液凝固因子製剤を投与された方
- ・フィブリノゲン製剤(フィブリン糊としての使用を含む)を投与された方
- ・大きな手術を受けた方、臓器移植を受けた方
- ・薬物濫用者、刺青をしている方、ボディピアスを施している方
- ・その他(過去に健康診断等で肝機能検査値の異常を指摘されているにも関わらず、その後肝炎の検査を受けていない方等)



## 治療

- **抗ウイルス療法**：インターフェロン（IFN）療法<sup>\*1</sup> および IFN フリー療法<sup>\*2</sup> があります。近年の治療薬の開発とともに治療の選択肢が増えています。

年齢やウイルスのタイプ、量、肝臓の状態などにより適した治療は異なります。

※ 1：インターフェロン（IFN）という注射薬を中心とした治療です。

- ・ **インターフェロン**：体内の免疫力を高めてウイルスの活動を鎮静化させる注射剤です。発熱や血球減少、うつ症状などの副作用の問題があります。単独もしくはリバピリンとの併用、リバピリンと直接作用型抗ウイルス剤の3剤併用で用います。
- ・ **リバピリン**：インターフェロンや直接作用型抗ウイルス剤と併用することによって治療効果を高める飲み薬です。
- ・ **直接作用型抗ウイルス剤**：直接ウイルスの増殖を抑えることによって抗ウイルス作用をあらわす飲み薬です。

※ 2：IFN を使わない、飲み薬だけの新しい治療です。慢性肝炎と初期の肝硬変（代償性肝硬変）の患者さんに行われます。高い治療効果がある一方、高い薬価が問題となっています。副作用は注射薬と比べると少ないですが薬によって注意すべき副作用があります。また、腎機能低下者には禁忌である薬、飲み合わせて禁忌となる薬・注意すべきサプリメントなどが指定されています。お薬手帳を活用することが有用です。



また、治療により体内から HCV を排除することができても、これまで悪くなってきた肝臓病そのものが完治したわけではありません。引き続き経過観察を受けることが重要です。

- **対症療法**：抗ウイルス療法ができない方や、HCV を排除できない場合に行います。

肝がんを予防する目的でインターフェロンを少量長期間用いる方法、進行を助長する血液中の鉄分を減らす瀉血（しゃけつ）療法、内服薬や注射により、肝機能を正常に保ち、肝炎の進行を防止する肝庇護療法があります。

### C 型肝炎患者さんの日常生活の注意点

- ・ 普段通りの生活をし、体力を落とさないようにする。
- ・ 血液や分泌物の付いたものは紙や布に包んで捨てるか流水で良く洗う。

- ・ 怪我などで血がでた場合は他の人に血液が付かないよう注意する。
- ・ カミソリ、歯ブラシなどは他の人と共用しない。
- ・ 乳幼児に口うつしでものを与えない。
- ・ 献血はしない。

## C型肝炎の助成制度

C型肝炎の問題は、「国民が、自身のC型肝炎ウイルス感染の状況を認識し、その結果に基づき必要な診療を受けることが重要」とされています。

住民基本検診時の検査（一部無料）、保健所や委託医療機関において肝炎ウイルス検査を無料で行っています。また、すでに感染が診断されている方については医療費助成事業が開始されました。

特定フィブリノゲン製剤あるいは特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によりC型肝炎に感染されたいわゆる「薬害肝炎」の方には「感染被害者救済給付金支給法」により、症状に応じて給付金が支給されます。過去にこれらが納入された医療機関は公表されています（厚生労働省ホームページのフィブリノゲン製剤等相談窓口から入手可能です）。

また、医療保険により肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療やインターフェロンフリーの経口剤治療の場合には、所得に応じて、月あたりの医療費を軽減する目的で、医療費助成が受けられます。

詳しくはお近くの保健所にお問い合わせください。

参考：国立研究開発法人国立国際医療研究センター肝炎情報センターホームページ  
 肝炎ネット  
 今日の治療指針 2016年  
 MSD ホームページ

## 12月の栄養相談予定（各店10：00～12：00開催です）

- ・ 1日（木）松陽台店
- ・ 6日（火）泉店
- ・ 7日（水）船岡店
- ・ 13日（火）若林店
- ・ 15日（木）玉川店
- ・ 16日（金）中新田店
- ・ 19日（月）長町店
- ・ 20日（火）多賀城店
- ・ 22日（木）古川店